

## 2017年1月以来の118円台

GLOBAL MARKETS RESEARCH

アナリスト 平松 誠基

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和4(2022)年3月15日

## 前営業日の市況

ウクライナとロシアの停戦交渉について、双方が何らかの成果が出る可能性に言及し、市場心理が改善した。早朝から円売りが優勢となり、東京時間には117円台後半まで上昇。欧州時間には、米FOMCを控えた米金利の上昇も相まって118円台まで続伸した。米国時間も米金利の上昇が続き長期金利は2.13%台に達し、ドル円も118.21まで上伸。高値圏で引けている。なお、米政府は、中国がロシアを支援した場合、重大な結果を招くと警告。中国企業への規制強化リスクが意識され、米金利の上昇とともに米主要株価の下落を促している。

## 本日のポイント

本日は2月の米生産者物価指数に注目。米期待インフレ率が上昇するなか、先週の消費者物価指数に続き、改めインフレ圧力の強さが確認されれば、米国の利上げ観測を高めるものとなろう。今週は日米の金融政策会合を控え、日米金利差拡大が意識されやすく、ドル円はすでに2016年12月の高値118.66が視野に入っている。もっとも、ドル円のRSI(相対力指数)は買われすぎを示す70を超える。原油価格の上昇も一服しており、円売り圧力も徐々に弱まるとみられ、本日のところは118円台半ばを上値目処とする。(平松)

## 本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
117.70~118.70	1.0900~1.1000	128.70~129.90

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

